

目次

起動ファームウェアのエリア切り替え	3
コマンド使用方法	3

起動ファームウェアのエリア切り替え

[ファームウェアの構造](#) で記載している通り、MA-E3xxシリーズは 起動するファームウェアを2セット持つことができるようになっています。

通常は、最後にファームウェアアップデート対象となった方から起動しますが、

- ファームウェアにバグが見つかったので、一つ前のファームウェアで起動させたい

という場合、`switch_area` コマンドにより起動ファームウェアを切り替えることが可能です。

コマンド使用方法

コマンドの書式は以下のとおりです。

```
user1@plum:~$ sudo switch_area -h
[sudo] password for user1:
usage: switch_area [-p]
  -p: pretend (do not change area to boot)
user1@plum:~$
```

“-p” オプションをつけた場合の実行結果は下記のようにになります。

```
user1@plum:~$ sudo switch_area -p
== firmware information ==
LATEST: AREA0
OLD:     AREA1
NOW:     AREA0
switch boot from AREA0 to AREA1
user1@plum:~$
```

実際には切り替えを行わず、以下の情報の確認ができます。

- 最新ファームウェアのエリア (LATEST)
- 旧ファームウェアのエリア (OLD)
- 現在どちらのエリアから起動しているか (NOW)
- 実行した場合、どちらのエリアから起動するように設定されるか

From:

<https://ma-tech.centurysys.jp/> - **MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' WiKi**

Permanent link:

https://ma-tech.centurysys.jp/doku.php?id=mae3xx_ope:switch_boot_area:start



Last update: **2014/03/26 13:28**